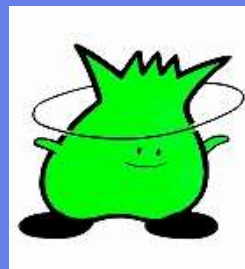


ごみ袋 1 枚目からの有料化について

令和 9 年 4 月 1 日から新しい制度が始まります

碧南市 経済環境部 環境課





碧南市のごみの現状

ごみの排出量が多い（令和5年度実績）

一人1日当たり：**524g**

県平均：475g

県平均より49g多い！

県内54市町村中 15番目に排出量が多い

処理経費が増加（令和5年度実績）

一人当たり年間：約**16,000円**

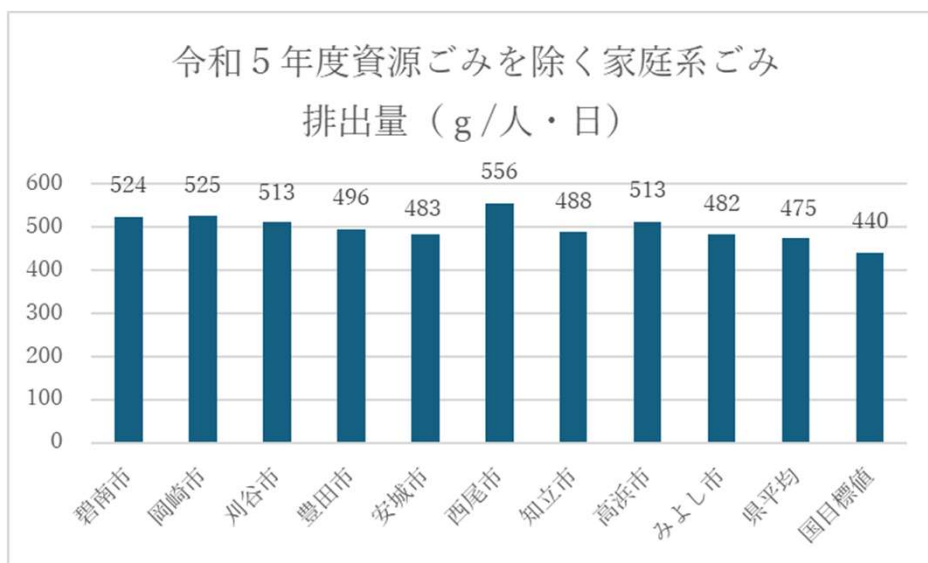
全体で約12億円

施設の老朽化により修繕費が増加している



碧南市のごみの現状

西三河9市の状況（令和5年度実績）



西三河9市を比較してもごみの排出量が多い（令和5年度実績）

一人1日当たり：**524g**

西尾市、岡崎市に次いで排出量が多い

国の目標値：**440g**

国目標値、県平均値より家庭系ごみを多く排出・
排出ごみ処理経費の増加



ごみ減量のさらなる
推進が必要

有料化の3つの目的

1

ごみの減量とリサイクル率向上

1枚目から有料化することで、ごみ減量への意識が高まります

2

負担の公平性確保

ごみを多く出す人の負担は大きく、減量に取り組む人の負担は小さくなります

3

処理費用の削減と財源確保

ごみ減量により施設負担が減り、安定的なごみ処理が可能になります
手数料をごみ減量施策の財源として活用できます

制度の変更点

現在の制度

- 超過従量制
- 一定枚数を無料配布
- 超過分は1ℓ 当たり1円で購入
→45ℓ 10枚入りで450円



令和9年4月から

- 単純従量制
- 1枚目から有料化
- 1ℓ 当たり0.25円（最初の3年）
→45ℓ 10枚入りで110円

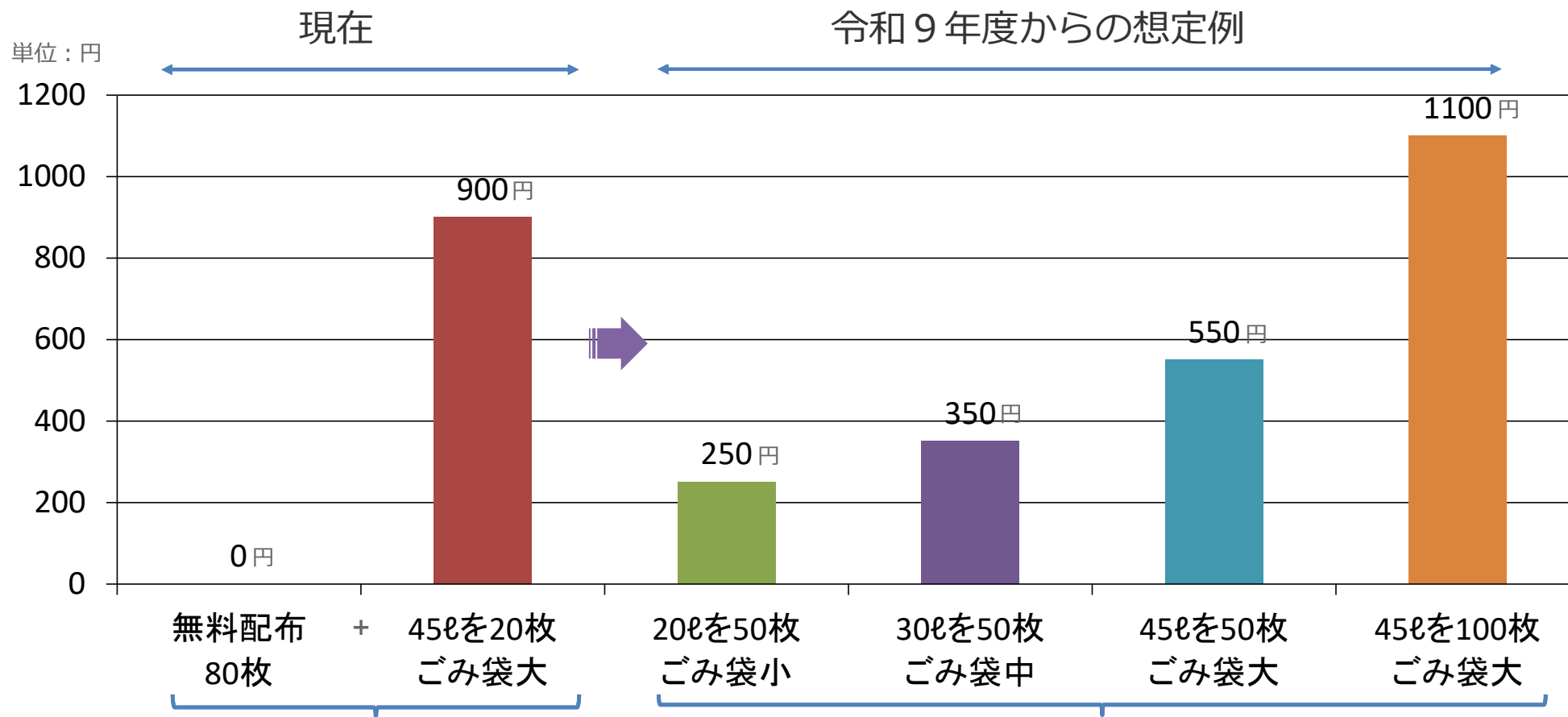


ポイント：最初は現在の約1/4の価格で設定し、3年後（令和12年度）に現在の約1/2の価格になるよう段階的に引き上げます

新しい指定袋の価格

区 分	現 行	令和9年4月1日～ 令和12年3月31日	令和12年4月1日以降～
価格/ ℓ	1 円	0.25円(現行の約1/4)	0.5円(現行の約1/2)
販売価格	大10枚入 450円 中10枚入 300円	大10枚入 110円 中10枚入 70円 小10枚入 50円(追加)	大10枚入 220円 中10枚入 150円 小10枚入 100円
入手方法	町内会から配布 ハガキと交換 販売店等で購入	販売店等で購入	販売店等で購入

ごみ袋のサイズと使用枚数ごとの金額比較



年間100枚使用⇒週2回排出
(無料配布80枚、購入20枚と想定)

より小さな袋で、週1回排出に抑えるなど、ごみ減量に努めると、費用も抑えられます！

ごみ袋の入手方法が変わります

現在

- 町内会経由で配布
または
- ハガキと交換で配布
(不足分は購入)



令和9年4月から

- 指定販売店等で購入（スーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等）



次ページで新たな店舗を紹介



新たにごみ袋を購入できる店舗

店舗区分	新たに購入できる店舗（令和8年9月30日現在登録のあった店舗）
コンビニエンスストア	セブンイレブン（一部店舗を除く）、ファミリーマート（一部店舗を除く）
ドラッグストア	スギドラッグ、クスリのアオキ、ジップドラッグ、サンドラッグ、ゲンキー
スーパーマーケット	ピアゴ、ドミー、アオキスーパー、バロー、ドン・キホーテUNY、カネスエ、フェルナ
ホームセンター	DCM、コメリハードアンドグリーン

- ・従来からの登録販売店、環境課窓口でも引き続き販売します
- ・令和9年4月1日から新しいごみ袋が使用できるよう、令和9年3月下旬に各販売店で購入できるようにします
- ・詳しい店舗一覧、販売開始時期等は環境課ホームページをご覧ください



有料化の対象

✓ 有料化される

- 燃やすことのできるごみ指定袋（1枚目から）

○ 変更なし（現行とおり）

- 資源ごみ（アルミ缶、ペットボトル、古紙など）
- 埋立ごみ（ガラス、陶磁器など）
- 特別ごみ（蛍光灯、ライターなど）
- 粗大ごみ（粗大ごみステーションに出すもの）



資源ごみを分別することで、費用削減につながります！

現在のごみ袋について

現在のごみ袋は令和10年3月31日まで使用できます

- ・令和9年4月1日からは、1枚目からすべての皆さんにごみ処理費用の一部を排出量（ごみ袋の量）に応じて、負担いただく形に変更します。
- ・今まで無料で配布してきたごみ袋の使用期限につきまして、これまでごみ減量に努めてこられた皆様への感謝の気持ちとして、新しい制度に切り替えた後も、1年間は現在使用しているごみ袋を引き続き利用できるようにしました。



次ページで余った場合の有効活用の提案

現在のごみ袋が余った場合の活用方法

現在のごみ袋は令和10年3月31日まで使用できますが
使用期限経過後の活用方法について一例を紹介します

- ・ クリーンセンター衣浦へ持ち込む際に使用
- ・ 家庭での災害用の便袋等、非常時への備えとして活用

それでも使用しきれない場合はどうするの？

- ・ 市にご返却いただければ、災害時の便袋や清掃活動時に使用する等、資源を無駄にせず有効活用させていただきます
- ・ 返却方法については検討中で決まり次第、周知いたします

おむつ使用世帯等への無料配布

おむつ使用等で排出量の削減が難しいご家庭には、引き続き無料配布します

区 分	現 行	改正後
介護・障害	最大90枚／年 加算配布 (30リットル)	最大50枚／年 配布 (20リットル)
2歳児未満	最大80枚／1回のみ加算配布 (30リットル)	最大100枚／1回のみ配布 (20リットル)
6人以上世帯	世帯人員6人目以降 1人につき10枚／年 加算配布 (45リットル)	廃止

今後の周知・啓発

- 市ホームページ：最新情報を随時掲載
- 公式LINE・スマホアプリ「さんあ〜る」：通知機能で周知
- 広報へきなん：令和9年3月号にて1枚目からの有料化最終案内
- ごみカレンダー
 - 町内会加入世帯：全戸配布
 - 町内会未加入世帯：市から配布しないため、市ホームページで確認
環境課でも配布します

ごみを減らすコツ⇒生ごみの削減

しっかりと水切りをしましょう！

しっかりと水切りすると・・・  ➡ 

- ・ごみの重量を減らせます！ 一般的に7～8割が水分で家庭からでるごみ減量にも直結
- ・焼却に必要なエネルギーを減らせます！ CO2排出量の削減にも
- ・悪臭・腐敗の抑制につながります！
- ・収集コストの削減にもつながります！

生ごみたい肥化容器等補助金をご活用ください！

- ・市内指定取扱店で生ごみ処理機やコンポストを購入した場合、購入金額の2/3（処理機：上限5万円、コンポスト：上限7千円）を補助します
- ・ごみの削減に大きな効果があります
- ・近隣市と比べても、補助が大きいので是非ご活用ください

ごみを減らすコツ⇒3 Rの推進

Reduce (リデュース)

ごみになるものを買わない・もらわないにしましょう！

Reuse (リユース)

繰り返し使いましょう！

Recycle (リサイクル)

資源として再利用しましょう！



一緒にごみ減量に取り組みましょう！

お問い合わせ

碧南市ホームページ
ごみ袋有料化について →



碧南市 経済環境部 環境課 ごみ減量係

電話 : 0566-95-9899

E-mail : kankyoka@city.hekinan.lg.jp